

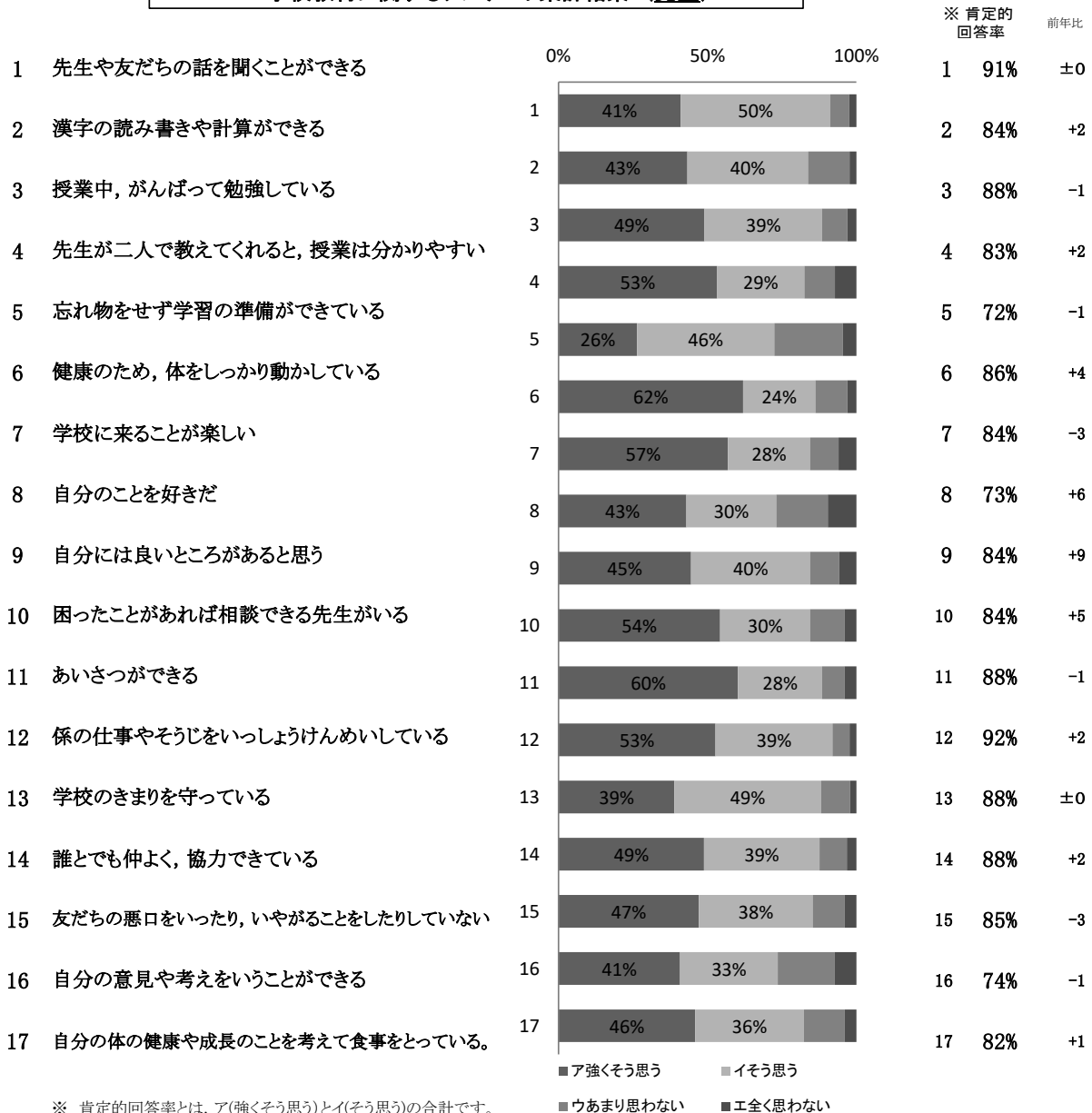
保護者の皆様  
(家庭数)

八万小学校長 山崎 眞弘

本校の教育活動をより充実したものにするため、昨年12月、保護者の皆様に学校運営、教育活動、児童の様子等について学校評価をお願いしましたところ快くご協力いただき、心からお礼申し上げます。

学校評価の集計、分析結果は次のようになりました。児童アンケートは17項目中14項目で、保護者アンケートでは11項目中7項目において、評価が80%を超えていました。学校と家庭・地域の連携により、児童が意欲を持って充実した学校生活を送ることができている様子がうかがえます。また、この結果とともに個別にいただいたご意見を生かして、今後も学校運営に真摯に取り組んでまいりたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

学校教育に関するアンケート集計結果（児童）



※ 肯定的回答率は、ア(強く思う)とイ(そう思う)の合計です。

今年度のアンケート結果では、全体的に少数値の増減が見られましたが、項目によっては大きく数値が上がっており、教育効果が感じられる結果となりました。

「8 自分のことを好きだ」「9 自分には良いところがある」は、大きく数値が上がっており、児童の自己肯定感が上がっていることが分かります。これを学習面と関連付けて見てみると「2 漢字の読み書きや計算ができる」「4 先生が二人で教えてくれると、授業は分かりやすい」の各項目が増加していることから、児童にとって学習環境が整い、個別最適な指導のもと、基礎的・基本的な学習が身につけてきていると考えられます。そして、それが自信につながり、自己肯定感の上昇につながっていると考えます。また、「10 困ったことがあれば相談できる先生がいる」「14 誰とでも仲良く協力できている」の各項目も増加していることから、児童にとって周りの人たちとの関係がより良好になり、安心して落ち着いた生活ができていることが分かります。その中で、生き生きと過ごすことができたり、認められたりする経験が増え、自己肯定感の上昇につながっていると考えられます。引き続き、人権教育を中心とした指導を行い、自己肯定感を高める教育活動を増やしていきます。

数値が下がった項目については、「7学校に来ることが楽しい」「15友達の悪口を言ったり、嫌がる事をしたりしていない」が3%減少しており、自己肯定感は上がっているものの、友達とのトラブル等が要因となって登校に影響が出ている事も考えられます。これからも、トラブルや子どもの少しの変化も見逃さず、児童が安心して過ごせる学校づくりに邁進していくと考えます。よりよい八万小学校にしていくために、基礎的・基本的な学習の定着を図り、よりよい人間関係の中、他者に認められ、自分を大切にできる児童の育成に取り組んで参ります。今後ともご協力をお願いします。